

## 脇本商事の繊維のネタ帳 Vol.175

### 知っておきたい繊維の知識～アパレル編⑦

こんにちは！

『知っておきたい繊維の知識』（ダイセン株）より『アパレル編』をご紹介します。よろしくお願いします～！

素材特性にはいろいろありますが、製品設計（特にシルエット）に影響する性質は「保形性」、「変形性」、「可塑性」の3要素が重要です。

今回は「変形性」についてお話しします～！

変形性は力が加わったとき、元の形を保てないで変形してしまう性質をいいます。

たて糸とよこ糸の交差角度（直角）が変化（せん断変形）することで、一般に“せん断やわらかい”“せん断小さい”といっています。

今回は「可塑性」についてご紹介したいと思います～



こんにちは！ポピンです～♪

画像にあるのは伸縮性のあるB面ファスナーです。

一般的な面ファスナーは伸び縮みしないのですがこの面ファスナーは伸びる設計がされています。

特長は、ストレッチ性に優れているので様々な形状に使えます。

また、ソフトタッチで肌にも優しく人体にもフィットします。

A面との接着性にも優れていて、耐荷重性や剥離強度も高く毛羽立ちにくいので繰り返し使用することが可能です。

白、黒、グレー、ベージュなどの色展開や、サイズも 20mm 巾から 50mm 巾まで規格がありますので用途に応じて使い分けすることができますね～

## facebook情報宅急便！

[www.facebook.com/kkwakimoto](https://www.facebook.com/kkwakimoto)



ポピンの会社でもストレッチの伸縮性のある面ファスナーを紹介していますのでこちらもご覧ください～♪

[https://kk-wakimoto.com/ec/products/list?category\\_id=117](https://kk-wakimoto.com/ec/products/list?category_id=117)



## NET PICKUP!

博報堂生活総合研究所による生活者の意識調査  
定点調査で回答の変化を観測しています

生活定点より <https://seikatsusoken.jp/shohiyoho/2025-04/>

### 2025年4月の消費意欲指数は？

最新(2025年3月上旬)調査結果

20～69歳の男女1,500名を  
対象に「来月の消費意欲」を点数化 **46.5%**

前月(3月)より2.5↑ 前年(2024年)より1.3↓

春に向けた意欲は高まるも、物価高の影響が強まり、特に女性で前年より低下  
消費意向は「旅行」「化粧品」「ファッション」のソト向きカテゴリで前年比減

ラベルくん.com label-kun.com

### ～株式会社脇本商事のホームページからのお知らせ～

ラベルくん.comを運営しています脇本商事では生地をはじめ、副資材から梱包材など繊維製品の専門材料をピックアップしてご紹介しています。ぜひご覧ください～♪

<https://kk-wakimoto.com>



## Gadget Star

ガジェットの星

便利な商品をインターネットから  
探してご紹介するコーナーです♪

ガジェット通信より <https://getnews.jp/archives/3601762>

### セブラから紙にも仮想空間にも書くことができる 新技術「kaku lab.」

既存の筆記具の技術に、XR(クロスリアリティ)と生成AIを組み合わせることで、「カク」を拡張した全く新しい手書き体験ができる技術です。今回は2月20日に行われた発表会での新技術の様子をご紹介します。



### 「kaku lab.」でできること

現実の紙にでも、仮想空間にでも「カク」ことができます。手で「カク」という感覚的な動作で、様々な創作や学びを楽しみながら行えます。

仮想空間上で手書きした文字をテキストデータにしたり、すぐに翻訳したりできます。ラフに書いた絵を自動的にリアルな表現にしたり、それを動かしたりできます。

絵を書くのが苦手な人や動画制作など高度な技術がない人でも、頭の中のイメージを多彩な表現にすることができます。

コンテンツを作りやすいIT技術をベースにしているため、教育や医療、エンターテインメント、クリエイティブなどの様々な分野で活用できるようになっています。

### 「kaku lab.」の技術

リアルタイム3D visual生成プラットフォーム「kaku lab.」は、以下の3つの技術で実現しています。

**T-Pen:** 紙にも仮想空間にも書くことができる、アナログとデジタルが融合した筆記具です。本体にセンサーを搭載し、書いている時の速度、角度、筆圧、時間などのデータを取得します。Bluetoothで様々なデバイスに接続して筆記のプロセスを可視化し、デジタル空間とつなぐことができます。もちろん通常の筆記具（ボールペン 又は シャープペン）のように紙に書くこともできます。

**kaku XR:** 「T-Pen」と連携し、仮想空間で「カク」ことができるデジタル技術です。「T-Pen」の動きを仮想空間で再現し、まるで空中に書いているような新しい筆記体験をすることができます。仮想空間は、ヘッドマウントディスプレイ、PC、タブレットなど、様々なデバイスで表示できます。

**kaku AI:** 複数の生成AIをつなぎ合わせて、様々なクリエイティブ表現や体験ができます。描いた文字やイラストを生成AI使って清書、立体化、動画化することができます。必要な生成AIをAPIで複数組み合わせ、連携させたコンテンツを作ることができます。

実売はまだ未定だそうで、実際にどんな使い方ができるのか、早く試してみたいところ。正式な発売情報の発表が気になりますね。



※文章: ガジェット通信より抜粋

脇本康裕の気になるコラム  
「世界三大発明」といえば、火薬・羅針盤・活版印刷と言われます。  
その時代は14世紀からのルネサンス期で、美術や文学、科学などあらゆる分野で飛躍的な発展を遂げ、近代以降ヨーロッパが世界をリードする原動力になったといわれています。  
火薬はヨーロッパに伝わり、戦争の在り方が劇的に変わり、大砲や銃といった火器が戦争の主力武器となりました。羅針盤は大航海時代の礎を築いた発明で、航海の安全性が飛躍的に向上し、長距離の海洋探検が可能となり世界は大きく広がりました。  
活版印刷は書物の大量生産が可能になり学問や知識が広く伝わるようになり特に宗教改革やルネサンス思想は瞬く間に広まりました。  
世界の歴史を変え、その後の文明の進展に決定的な影響を与えた出来事として世界史に刻まれています。  
繊維業界の発明で初めて実用的に値する完全な本縫ミシンが登場したのは1846年にアメリカで特許を取得したミシンです。  
現代のミシンとも共通する特徴を備えていて、それは「針の先端に糸通し穴を開ける」という画期的なアイデアでした。  
日本で初めて持ち込まれたミシンには諸説ありますが、ペリが徳川幕府に贈った献上品の中にあつたというのが有力だそう。その後は文明開化における欧米化によりミシンの需要が高まってきましたが、それでも歴史はわずか200年余りなのですね。  
これからの時代はどのような進化をして歴史を刻むのでしょうか。

